



令和7年度 学校だより



りんごの里から

11月号

青森県立弘前第一養護学校 令和7年11月 日発行 高等部主任 大塚 健祐

【DXハイスクールの取組について】

最近では、ICTやAI技術が非常に身近になり、本校でも「GIGAスクール構想のもと、生徒一人ひとりがタブレット端末(iPad)を授業で活用しています。本校高等部は、文部科学省の「DXハイスクール」事業に、昨年度に引き続き継続校として採択されました。この事業は、特別支援学校においては、デジタル技術を活用することで社会参加や将来の選択肢を広げる探究的な学びを支援するものです。今回は、今年度パワーアップした本校のDXハイスクールの取組を紹介します。



« 継続した取組①：プロジェクトVR(没入空間の活用) »

昨年度導入した、前方・左右・天井に映像を投影する「没入空間」が本格稼働しています。VRゴーグルがなくても、その場にいる全員で同じ体験を共有できるのが特徴です。今年度は、修学旅行の事後学習で活用しました。大阪万博やUSJなどの映像を投影し、臨場感あふれる空間で旅行の思い出を振り返りました。



« 継続した取組②：水耕栽培 »

高等部の作業学習「農業班」では、水耕栽培を取り組んでいます。今年度は、室内の温度、湿度、水温や二酸化炭素などのデータをセンサー装置で測定するなど、よりデジタル技術を活用した栽培に挑戦してく予定です。



【収穫の様子】



【ドローン】

« 新規の取組①：ドローン »

昨年度は校舎の「空撮」に使用しましたが、今年度は「プログラミング体験」として、ドローンの操作方法を学んだ後、自分でどのように飛ばしたいかを考え、プログラミングでドローンを飛ばす体験を行う予定です。



【ドローンによる自動追尾】

« 新規の取組②：eスポーツ体験 »

生徒たちの将来の余暇活動につなげることを目的に、eスポーツ体験を12月中旬に計画しています。専門業者に高等部体育館に本格的なeスポーツ環境のセッティングを依頼し、「太鼓の達人」や「サンバ de アミーゴ」などでeスポーツ体験をする予定です。リズム感や身体活動を伴うため、生徒が楽しみながら参加でき、協調性や集中力を育むことができるものと考えています。

« 新規の取組③：東京学芸大学との共同研究 »

今年度より、東京学芸大学の「最先端技術及び教育データ利活用に関する実証事業」の協力校として共同研究を開始しました。現在は、頭、両手首、腰、両足首にモーションキャプチャー用センサーを装着し、その動きでメタバース(仮想空間)のアバターを操作できるアプリの開発を依頼しています。完成し次第、授業で活用していきます。

以上、DX ハイスchoolの取組を紹介しました。今後も生徒の可能性を広げる学びを進めたいと考えています。引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力をお願ひいたします。